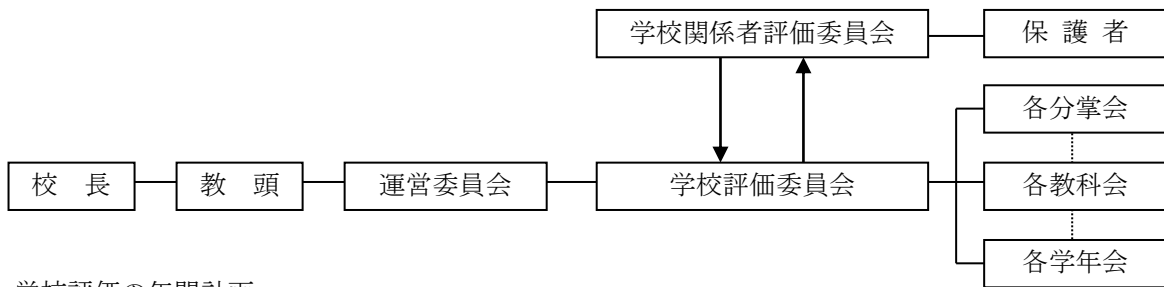


# 学校評価（平成29年度）

## (1) 学校評価のための組織



## (2) 学校評価の年間計画

4月 PLAN（計画）	課題・重点目標の設定 ・ 分掌別取組課題の検討 ・ 具体的方策 ・ 留意事項 情報受発信の検討	学校評価委員会で検討 運営委員会・職員会議で報告 PTA 総会で概要説明 学校ホームページに「重点目標」掲載 学校評議員への提示 地域の中学校への訪問・説明
通年 DO（実践） 9月 CHECK（評価）	中間評価の実施 ・ 取組状況の確認 ・ 改善点の検討 中間評価のまとめ ・ 評価結果と課題	学校評価委員会でまとめ 運営委員会・職員会議で報告 PTA 委員への概要説明 学校ホームページに「中間評価」掲載
3月 ACTION（改善）	年度末評価の実施 ・ 評価結果と課題 ・ 教育内容・活動の改善 次年度の重点目標の検討	学校評価委員会でまとめ 学校関係者評価委員会の開催 運営委員会・職員会議で報告 PTA 委員への概要説明 学校ホームページに「年度末評価」掲載

## (3) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化 ・ 基本的な生活習慣を確立させる。 ・ 学習習慣を確立させ、生徒一人一人の学力を向上させる。 ・ 生徒の希望する進路の実現に向けて、進路指導を充実させる。 ・ 生徒の「豊かな心」を育む教育を推進する。 ・ 教職員の多忙化を改善することで教育活動を充実させる。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	保護者の学校行事・PTA活動への積極的な参加の促進 現職教育の充実 HPの充実	・連絡、広報活動を通して行事への積極的な参加を促す。  ・希望を聞き、テーマを設定して、教職員の力量が高められるように努める。 ・内容を常時更新していく。	・受け入れ態勢や設備を整え、案内を工夫する。  ・関係分掌と協力して、内容及び講師の人選や時期、希望を考慮する。  ・常に最新の情報を提供し、本校への関心を高める。

<p>教 務</p>	<p>授業規律の確立と向上</p> <p>業務の効率化を図るためのシステム構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムと同時に授業を始める。</li> <li>・授業前に身だしなみ指導を必要に応じて行う。</li> <li>・予習・復習・課題など家庭学習の成果に繋がる取り組みを継続して指導する。</li> <li>・授業規律調査週間を設け、授業規律の確立に重点的に取り組む。</li> <li>・ICTの共有化、資料・教材の共有化を図り、時短に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議、学年主任会、教科主任会を通じて全ての教員の共通理解の下、連携を図って継続指導する。</li> <li>・考査前学習会など、学年ごとの取組も重要である。横の連携を密にして、授業規律を確立させ、生徒の学力向上をめざす。</li> <li>・授業規律調査週間では授業中の生徒の様子について、積極的に報告を受け縦横の連携を取りながら授業規律の確立に取り組む。</li> <li>・業務を遂行する上で、常にタイムマネジメントを意識する。</li> </ul>
<p>生徒指導</p>	<p>交通社会の一員としての意識の涵養</p> <p>いじめの未然防止に係る取組の充実</p> <p>いじめの早期発見と、適切な事案対処</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学者が自ら自転車点検を実施することにより、交通安全に対する責任感を向上させる。</li> <li>・電車通学者の乗車マナーや、学校周辺の通学路における交通マナーを向上させるよう、立ち番指導を実施する。</li> <li>・全校集会、学年集会、HR 等において、いじめ防止をテーマとした講話や活動を実施し、生徒が主体的に考える機会を設ける。</li> <li>・生徒との面接やいじめアンケートの実施、生徒相談箱の設置などを通して、いじめの早期発見に努め、適切に対応する。また、学年会、学年主任会、教育相談委員会等と連携し、情報の共有化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に点検のポイントを明確に教え、生徒間で相互に点検できるよう指導・監督する。</li> <li>・1年生には、一旦停止や危険予測など、自転車乗車中の安全対策を年度のできるだけ早い時期から指導する。</li> <li>・電車内や、駅から集団で登校する場合は、地域住民に迷惑を掛けないようにするばかりでなく、交通弱者に対する配慮ができるよう指導する。</li> <li>・適宜、学校周辺の通学路を点検し、危険箇所がないか確認し、あれば対策をとる。</li> <li>・いじめ防止、人権尊重など、具体的なテーマを設定して取り組む。また、SNS の適切な使用など、情報モラルについて考えさせるようにする。</li> <li>・学校 HP に「いじめ防止基本方針」を掲載し、本校の取組について生徒・保護者への周知を図る。また、生徒・保護者が相談しやすい環境を整える。</li> <li>・いじめ防止基本方針の内容を点検し、改善項目がないか確認する。また、その結果を全職員で共有する。</li> </ul>

<p>進路指導</p>	<p>的確な進路指導及び家庭学習習慣の確立</p> <p>キャリア教育の推進</p>	<p>・他の分掌・教科・学年団との連携と協力を図り、模試分析会、スタディサポート分析会の結果を生徒指導、学習指導に反映させる。普通科では上位層を伸ばし、中下位層は引き上げる指導を徹底する。商業科・総合ビジネス科の進学希望者は意識の高揚と実力の向上を目指す。</p> <p>・職場体験や進路相談の充実を図る。</p>	<p>・生徒の成績を十分に分析し把握することで、安易な進路選択をさせないよう指導する。成績だけでの進路選択ではなく、将来の夢や希望に向けた進路指導を推進する。</p> <p>・生徒一人一人の将来への夢や希望等、意識を明確にさせ、望ましい職業観や勤労観を養うことで、充実した高校生活となるよう働きかけを行う。</p>
<p>保健厚生</p>	<p>生徒保健委員・美化委員会活動の充実</p> <p>環境美化活動の充実</p> <p>教育相談活動</p>	<p>・役割分担を明確にし、機能的に活動できるようにする。</p> <p>・大掃除・除草活動を定期的に設定する。</p> <p>・別室の利用回数を増やす。</p>	<p>・各クラス、保健委員2名、美化委員2名とし、役割の重複を避け、個々の責務に専念させる。</p> <p>・大掃除、除草活動を適切な時期に計画し、作業を効率的に実施できるように工夫する。</p> <p>・図書室との連携を密にする。</p>
<p>図書文化</p>	<p>読書推進と図書の利用</p> <p>生徒参加推進</p> <p>言語活動の充実</p>	<p>・落ち着いた雰囲気で行えるような環境整備を進める。</p> <p>・図書館だよりを中心とした各種行事等の広報活動を行う。</p> <p>・朝読・読書会の積極的活用を図る。</p>	<p>・部活動（リバルアーククラブ等）との連携や新しい文化的な企画に挑戦する。</p> <p>・本校独自の〈高校生のための読書案内〉を生かした新しい活動に取り組む。</p> <p>・進路実現にもつながる言語能力の向上をめざす。</p>
<p>生徒会</p>	<p>全学年における円滑な学校行事の運営</p> <p>生徒会執行部やリーダーの育成・指導と学校祭に向けての短期間での集中した計画・実行</p>	<p>・全学年での学校行事の運営における課題を明確にして改善を図る。</p> <p>・生徒会執行部会やリーダー会を適宜開き、進捗状況の確認や指導を行う。学校祭リーダーに綿密な準備計画を立てさせるとともに、計画書の提出期限を厳守させ、計画書に基づいて実行させる。</p>	<p>・生徒会執行部を中心として、生徒の意見を反映できるよう検討する。</p> <p>・学校祭において、担任向けの工程表を作成し、クラス経営及びリーダー育成の一助とする。また、決められた時間内で、生徒全員が参加できるような実施要項を工夫する。また、進捗状況を適宜確認し、必要に応じて、準備計画の変更・修正を行わせる。</p>
<p>第1学年</p>	<p>挨拶及び基本的な生活習慣の確立・豊かな心の育成</p> <p>家庭学習習慣の確立</p> <p>キャリア教育の推進</p>	<p>・学校生活全般において、挨拶を励行させる。学年集会・HR・個人面接などを通して、授業や部活動に意欲的に取り組むよう働きかける。より良い人間関係のために行事や授業において他人を思いやる心を形成できるよう働きかける。</p> <p>・家庭学習時間調査を行い、学習習慣が定着するよう働きかける。</p> <p>・自分の興味・関心や価値観、意思決定スタイルを知り、将来の職業像をイメージさせることによ</p>	<p>・マナーの大切さを年度当初に周知徹底させる。授業・集会・HR・面談等により、良い生活習慣が学習や部活動の成果につながることを理解させる。教師間の連絡を密にし、それぞれの生徒が活動できる場の確保に努める。あらゆる場面でいじめや偏見の無いよう道徳教育を促す。</p> <p>・学習・生活時間調査を基に指導・助言を継続して行う。</p> <p>・進路講演会や総合的な学習の時間・HR等により、自己の興味・関心や価値観を理解させ、進路目標の設定に繋</p>

		って、進路目標の設定に繋げる。	げる。
第2学年	進路意識の向上及び進路希望先の決定  商業科の各科目に応じた高度な資格の取得及び普通科の学力向上	進路講話・授業、補習など様々・活動を通して進路に対する意識をもたせ、進路希望先の決定を行い、目標とする進路実現を達成するための方策を考えさせる。  ・商業科の各科目の授業内容に応じた資格取得をめざし、補習等を有効に活用して計画的に学習に取り組ませる。また、普通科における学力向上をめざし、学習会の充実を図り、朝学習等を有効活用する。	・どのような進学先で、どのような学問をするか、また、どのような資格を取得したらよいか等、自ら調べて比較検討する中で、自分に合った進学先をできるだけ早く決定し、進路実現に応じた効果的な勉強をさせる。  ・商業科においては、資格取得実現のために、生徒の習熟度に応じて、適切かつ丁寧な指導を行う。普通科では、進路希望の実現に向けて、個別にきめ細かい学習指導を行なう。また、定期的に進路研究を行なわせ、受験に対する意識を高めるとともに、生徒全体の学力の向上を目指す。
第3学年	生徒一人一人の進路希望の達成  大学・短大・専門学校などの合格率のアップ  企業・公務員などの合格率アップ  卒業までの進路の決定率アップ	・進路指導部と学年・教科・担任との連携をとり、学習環境を整える。 ・センター入試を目標に、様々な入試方法を利用させる。 ・補習や学習会を充実させ、実力を付けさせる。 ・校外学習会・センター直前模試を充実させる。  ・企業研究や就職試験での心構えやマナー指導、きめ細かな面接練習を充実させる。 ・進路未定の生徒に対して、面談を実施し、進路決定の手助けをする。	・学習記録を活用し、定期的に面談を実施し、授業や補習以外の学習時間（家庭学習・自主学習）の充実を図る。 ・担任や進路担当者と生徒の個別相談を密に行う。 ・土曜補習や休日学習会を利用させ、学力の向上を図る。 ・校外学習会を3日間行い、受験生としての自覚をもたせる。センター直前模試を活用してセンター形式に慣れさせ、本番で実力が発揮できるようにする。 ・企業研究の充実を図り、就職試験での心構えをもたせる。  ・多くの人と接することで生徒のコミュニケーション能力を高め、考えて行動する習慣や、計画的に物事を処理する能力を高める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化 1 学校行事やPTA活動への保護者の積極的な参加 2 各部活動への積極的な取り組みとその成果 3 公開授業や授業改善、パソコン塾やボランティア活動での地域貢献 4 進路指導体制の確立とその成果 5 一人一人の良いところを認め、伸ばす指導の実践 6 生徒の「豊かな心」を育む教育の推進 7 キャリア教育の推進とその成果	

(4) 前年度の学校評価  
ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	<p>「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を確立させる。</li> <li>・学習習慣を確立させる。</li> <li>・生徒の希望する進路の実現に向けて、進路指導の充実を目指す。</li> <li>・あらゆる活動を通じて、生徒の「豊かな心」を育む教育の推進を目指す。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務	<p>保護者の学校行事・PTA活動への積極的な参加の促進</p> <p>現職教育の充実</p> <p>HPの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡、広報活動を通して行事への積極的な参加を促す。</li> <li>・希望を聞き、テーマを設定して、教職員の力量が高められるように努める。</li> <li>・内容を常に更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 役員の協力体制が確立しており、円滑な運営ができた。特に「安全街頭指導」においては、従来の保護者代表の参加に加え、9月からはPTA会長や生徒代表が参加するとともに、横断幕を作成・活用して、内容の充実化を図った。</li> <li>・現職研修は、職員の意識も高く、充実したものとなった。</li> <li>・HPについては、更新の回数、内容ともに不十分であったので、今後より一層の充実化を図る必要がある。</li> </ul>
教務	授業規律の確立と向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムと同時に授業を始める。</li> <li>・授業前に身だしなみ指導を必要に応じて行う。</li> <li>・予習・復習・課題など家庭学習の成果に繋がる取り組みを継続して指導する。</li> <li>・授業規律調査週間を設け、授業規律の確立に重点的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修状況調査に基づき、学年・教科・分掌との連携を図りながら、履修状況の芳しくない生徒を指導した。一部には、繰り返し指導が必要な生徒も散見されるものの、全体的としては、課題の提出状況等に改善が見られた。今後は、授業に対する生徒の満足度を向上させるため、教科・学年と連携をとりながら、具体的な方策を検討したい。</li> </ul>
生徒指導	<p>生徒の「豊かな心」を育む教育の推進</p> <p>・端正な身だしなみの励行</p> <p>・挨拶の励行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の立ち番で観察・指導し、年3回定例の「身だしなみ指導」を学年ごとに実施する。</li> <li>・毎朝の立ち番時や校外で生徒に会うたびに行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち番指導により、身だしなみは例年の状況を維持できた。しかし、スカート丈を短くし、注意される生徒もいる。</li> <li>・まだ生徒から先に挨拶できる状況には至らない。立ち番では、笑顔でこちらから挨拶し、信頼関係を築くよう努め、少しではあるが改善が見られた。</li> </ul>
進路指導	<p>的確な進路指導及び家庭学習習慣の確立</p> <p>キャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分掌・教科・学年団との連携と協力を図り、模試分析会、スタディサポート分析会の結果を生徒指導、学習指導に反映させる。普通科では上位層を伸ばし、中下位層は引き上げる指導を徹底する。商業科の進学希望者は意識の高揚と実力の向上をめざす。</li> <li>・職場体験や進路相談の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試分析会等で詳細な分析を行い、生徒の意識向上・成績向上・取組の変化などに結びつけるための方策について学年団とも話し合った。生徒の家庭学習時間に劇的な増加は見られなかったが、週末課題及び課題提出の徹底などの指導の成果が現れつつある。今後は、進路目標を明確にもたせるような指導を行い、学習に対する意欲の向上につなげたい。</li> </ul>
保健厚生	生徒保健委員・美化委員会活動の充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を明確にし、機能的に活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会活動は回数などの数値的目標は達成できた一方、委員会活動に消極的</li> </ul>

	実 環境美化活動の充 実 教育相談活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除・除草活動を定期的に設定する。</li> <li>・別室の利用回数を増やす。</li> </ul>	な生徒が一部に見受けられた。次年度に向けては、課題意識をもたせることに重点を置いたり、作業の効率化を図らせたりして、質的な向上を図りたい。
図書文化	読書推進と図書の活用  生徒参加推進  言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気を利用してできるような環境整備を進める。</li> <li>・図書館だよりを中心とした各種行事等の広報活動を行う。</li> <li>・朝読・読書会の積極的活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブリオトークなどの企画に意欲的に取り組むことで、図書館利用者数を増加させることができた。また、新たに多読者表彰を実施した。図書館利用や読書に対して、生徒の関心が高まるような働き掛けを、今後も工夫したい。</li> <li>・朝読については、生徒は静かに落ち着いて読書に取り組むことができた。朝読は、その日一日の授業態度にもよい影響をもたらしているので次年度も継続していきたい。</li> </ul>
生徒会	全学年における円滑な学校行事の運営 執行部やリーダーの育成と指導学校祭に向けての短期間で集中した計画・実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年での学校行事の運営における課題を明確にして改善を図る。</li> <li>・執行部会やリーダー会を適宜開き、進捗状況の確認や指導を行う。学校祭リーダーに綿密な準備計画を立てさせるとともに、計画書の提出期限を厳守させ、計画書に基づいて実行させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的となる生徒会活動をめざしてきた。28年度は、生徒会執行部が中心となり、全校生徒に向けて熊本義援金の呼びかけをしたり、全校生徒で「くまもとがんばろう！」というメッセージを人文字で作って義援金とともに寄付をしたりすることができた。一方で、学校祭ではルールの徹底が不十分で円滑に運営できないことがあった。成功と失敗の両方を経験した一年であったが、生徒はその一つ一つを糧として成長していった。次年度も生徒が自ら考え、自ら動く生徒会活動となるよう指導していきたい。</li> </ul>
第1学年	挨拶及び基本的な生活習慣の確立  家庭学習習慣の確立  キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般において、挨拶を励行させる。</li> <li>・学年集会、HR、個人面接などを通して、北高校のリズムに慣れ、授業や部活動に意欲的に取り組むように働きかける。</li> <li>・家庭学習時間調査を行い、学習習慣が定着するよう働きかける。</li> <li>・自分の興味・関心や価値観、意思決定スタイルを知り、将来の職業像をイメージさせることによって、進路目標の設定に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習においては、まだまだ不十分であると感じているため、粘り強く指導したい。多感な時期であり、多様な生徒が存在するため、様々な面で個別指導の必要性を感じている。</li> <li>・キャリア教育を通じ、仕事に対する責任感や社会貢献、進路実現について考察する機会となった。未来に向けて高校生として今、自分自身がどうあるべきかを具体化させることが必要となる。</li> </ul>
第2学年	進路意識の向上及び進路希望先の決定  商業科の各科目に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講話・授業、補習など様々な活動を通して進路に対する意識を持たせ、進路希望先の決定を行い、目標とする進路実現を達成するための方策を考えさせる。</li> <li>・商業科各科目の授業内容に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科では、カリキュラムの変更により、情報・簿記検定の問題に変更があり、合格率が伸び悩んだ。普通科では、1月の模試で、5教科総合で8名が偏差値50を超えている。1科目なら力がついている生徒も増えたが、複数科目で力がついている生徒が少ない。今後は得意科目を</li> </ul>

	応じた高度な資格の取得及び普通科の学力向上	応じた資格取得をめざし、補習等を有効に活用して計画的に学習に取り組ませる。また、普通科における学力向上をめざし、学習会の充実化を図り、朝学習等を有効活用する。	伸ばしつつ、他の科目をいかに伸ばすかが大きな課題である。学習会を行い、全体で勉強する雰囲気作りをしていきたい。就職者については、履歴書の書き方や言葉づかいなど、今後も進路ガイダンスを利用して指導を継続していく。
第3学年	生徒一人一人の進路希望の達成  大学・短大・専門学校などの合格率のアップ  企業・公務員などの合格率アップ  卒業までの進路の決定率アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と学年・教科・担任との連携をとり、学習環境を整える。</li> <li>・センター入試を目標に、様々な入試方法を利用させる。また、補習や学習会を充実させ、実力を付けさせる。</li> <li>・校外学習会・センター直前模試を充実させる。</li> <li>・企業研究や就職試験での心構えやマナー指導、きめ細かな面接練習を充実させる。</li> <li>・進路未定の生徒に対して、面談を実施し、進路決定の手助けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科では課題研究での様々な取組を通して、より視野を広げた。名古屋市立大学・青森公立大学に合格するなど進学・就職ともに好調であった。</li> <li>公務員試験には、3名が合格した（愛西市消防・自衛官・愛知県警）。普通科はセンター試験に163名が挑戦した。商業科の国公立大学進学については、学力検査や小論文など総合力の育成を図る工夫が必要である。昨年、今年と普通科における進学の流れ（一般入試を主眼に置き、補習・学習会を実施し学力をつける）をつくることのできた。今後もこの流れを維持することが最も必要だと考える。</li> </ul>
総合評価		<p>校訓「勤勉 誠実 健康」の下、落ち着いた雰囲気の中で、教育活動を進めることができている。平常の学習活動、特別活動、部活動に加え、学校外での様々な地域貢献活動にも取り組むことで生徒一人一人の成長を図ることができた。</p> <p>商業科においては、資格取得に力を入れて指導した。さらに、取得した資格を進学・就職に生かすことができるよう、進路ガイダンス・キャリア教育の充実を図った。</p> <p>普通科においては、進学指導体制の整備・確立を進めている。進路目標を高く設定し、確かな学力を身に付けた上で、進路実現を図るような指導を推進した。</p>	

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<p>「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高等学校」の具現化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校行事やPTA活動への保護者の積極的な参加</li> <li>2 各部活動への積極的な取組とその成果</li> <li>3 公開授業や授業改善、パソコン塾やボランティア活動での地域貢献</li> <li>4 進路指導体制の確立とその成果</li> <li>5 一人一人の良いところを認め、伸ばす指導の実践</li> <li>6 生徒の「豊かな心」を育む教育の推進</li> <li>7 キャリア教育の推進とその成果</li> </ol>
自己評価結果について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者の公開授業への参加が増えるなど、関心・理解が高まった。PTA役員の協力体制も確立していた。</li> <li>2 授業規律はおおむね確立できている。生徒の課題提出状況もよくなっている。</li> <li>3 挨拶の励行を推進した。校内では積極的に挨拶が交わされているが、登校時などはやや不十分であった。</li> <li>4 職場体験などキャリア教育の充実を図ることができた。「北高パソコン塾」や様々なボランティア活動を通しての地域貢献もできた。</li> <li>5 生徒保健委員会活動、環境美化活動の充実を図ることができた。</li> <li>6 生徒数が減少する中、読書推進を図る働きかけを行った結果、多数の</li> </ol>

	<p>多読者が生まれた。</p> <p>7 生徒が主体性を持って生徒会行事に取り組めるようになってきた。</p>
今後の改善方策について	<p>1 授業に対する生徒の満足度を向上させるための具体策を、教務と教科・学年が連携し検討する。学習の理解度が低い生徒に対するサポート体制を確立する。</p> <p>2 挨拶の励行を進めるために、集中・強調する期間を設けて取り組む。</p> <p>3 キャリア教育を推進する。進路目標の明確化、学習意識の向上を図ることで、生徒の学習意欲を高める。同時に、様々な入試制度に対応した進路指導の充実を図るとともに、上位層を伸ばし中下位層を引き上げる指導を引き続き行っていく。</p> <p>4 商業科・総合ビジネス科での進学希望者の意識と実力の向上を図る。特に、国語・英語の実力アップをめざす。</p> <p>5 「言語活動の充実」のための方策を検討する。</p> <p>6 様々な教育活動を通して、更なる地域貢献を進める。</p>
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<p>1 進路実績（就職・進学）は堅調で、部活動も活発である。地域への貢献活動も積極的になされており、適正かつ円滑な学校運営がなされている。</p> <p>2 生徒の進路実現に向けては、低学年からの意識付けや「社会を見る目」を養うような取組を期待したい。</p> <p>3 自己表現力を養うような教育活動を求めたい。</p> <p>4 教科指導の強化、教職員の多忙化解消など、学校現場では考えていかなければならないことが多くなっている。</p>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<p>1 学校関係者評価委員 市教育長 地元企業顧問 大学関係者 同窓会長 PTA会長 PTA副会長</p> <p>2 評価時期 9月・3月の2回</p>

(5) 経営管理上の問題点等

- ア 産業界の求める即戦力となる人材育成のために、時代の変化に対応した更なる施設・設備の充実が望まれる。
- イ 教育活動充実のために、プールの改修が望まれる。
- ウ 家庭科室の設備・備品の充実が望まれる。
- エ 部活動の活性化を図るため、特に冬場の練習確保のための照明施設の充実が望まれる。